令和６年度　杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	２９	学校名	仙台市立小松島小学校	校長名	遊佐　亮

１　取組のテーマ「豊かな自然　環境に優しく」

本校では豊かな自然に意識を向けることができるようになるためには緑を身近に感じる環境が必要だと考え，以下のような活動を行いました。

２　取組の紹介

〇環境委員会による緑化の取組

委員会活動として年に２回季節ごとに花苗を植えました。（夏植え：サルビア，バーベナ，マリーゴールド，ベゴニア　秋植え：パンジー，チューリップ，クロッカス，ヒアシンス）また，花苗の豊かな成長のために委員会の常時活動として毎月草取りを行いました。

〇自然に触れる学習活動

４・５年生でヘチマを教材とした理科学習を行うにあたって，校舎の１階から３階にかけてヘチマによる緑のカーテンを作りました。４年生では，種から実へ成長過程の観察の中で植物に触れる経験をし，どうすると枯れてしまうのか，正しく成長させるにはどうしたらよいかを考えながら学習しました。５年生では雄花と雌花を使って受粉の学習をしました。

１・２年生では，学級園で野菜を育てる活動を行いました。１年生ではサツマイモ，２年生ではピーマン，シシトウ，かぼちゃ，とうがらし，オクラを生活科で育てました。それらが育っていく様子をわくわくしながら観察しました。

〇エコ学習

各教室に「燃えるごみ」と「プラスチックごみ」のごみ箱を設置し，分別や資源の再利用を心掛けています。

４年生では，社会科「すみよいくらしを作る」の単元で実際に松森清掃工場・資源化センターに行き，ごみの処理の仕方や資源の再利用を学びました。工場に集められたごみの量に驚き，どのようにすれば出るごみの量を削減できるか，３Ｒで自分は何ができるかを真剣に考えました。さらにパンフレットやポスターで発展的な学習に取り組みました。

３年生では社会科「店で働く人」・総合「食育」の学習でスーパーマーケットに見学に行きました。社会科では，種類によって分けられたリサイクルボックスや近付くと点灯する人感センサーライト等，省エネルギーに関する工夫を見てきました。また，総合「食育」の学習ではバランスよく食べることの大切さだけではなく，食べ残しをしない（食品ロスを減らす）重要性についても学習してきました。

３　取組の成果（児童生徒の変容）

４年生での学習を生かして燃えるごみとプラスチックごみと自分で判断して分別する様子が見られ，ごみの分別を行う習慣が定着してきていることが感じられます。

グリーンカーテンは校庭からよく見える場所にあり，さらに広いため，４・５年生以外の学年の児童も大きくなるヘチマに興味をもって観察し，新たな発見を報告する姿も見られました。来年度は理科や生活，総合の学習のみならず，さらに自然やエコに興味を広げられるような活動を考えていきたいと思います。